

事業者向け 児童発達支援自己評価表

区分	チェック項目	はい	検討中	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	<input type="radio"/>			一人あたり16平米以上を確保し、個室での個別療育を行なっています。集団療育の場合でも1名あたり4平米以上を確保しています。
	2 職員配置数は適切であるか	<input type="radio"/>			常勤換算で4名の保育士・児童指導員・臨床心理士、児童発達支援管理責任者(以下、児発管)1名を配置しています。また、言語聴覚士の資格を持つ職員も配置されています。
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境※1になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	<input type="radio"/>			療育室はお子様の状況/ニーズに応じて環境調整しています。また、お子様の担当者/個別療育の部屋が本人にわかるよう、視覚的配慮と構造化を行なっています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	<input type="radio"/>			清潔で心地よく過ごせる環境にしています。また、お子様一人ひとりの発達段階に応じた教材/環境等を用意できるように、職員間/保護者の皆様と相談の上調整しています。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	<input type="radio"/>			定期的に療育、運営を含めたミーティングを行なっています。計画(Plan)実行(Do)チェック(Check)改善(Action)を行なっています。臨時の会議は必要な際に都度実施しています。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	<input type="radio"/>			評価表よりご指摘をいただいた内容について改善に努めています。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	<input type="radio"/>			HPIにて公表しています。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		<input type="radio"/>		第三者評価による外部評価実施については今後検討していきます。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	<input type="radio"/>			研修の時間を定期的に設けています。早期療育/発達障がい/知的障がい/ABAを始めとする様々な支援方法等についての研修を行なっています。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	<input type="radio"/>			心理検査の実施とお子様の「育ち」について保護者様への聞き取りを生まれる前から現在に至るまで伺っています。現在のニーズをお伺いし、支援計画を立てます。
	11 子どもの適応行動の状況を計るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	<input type="radio"/>			標準化されたアセスメントツール「適応行動尺度Vineland-2」を実施しています。また、感覚の過敏性や鈍麻性をお持ちのお子様の場合は「感覚プロファイル」を実施し、感覚のニーズを客観的に把握しています。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容等から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	<input type="radio"/>			児童発達支援計画では、心理検査・(療育を通じての)お子様の様子・保護者様からの聞き取りの3つを軸に内容を検討し、市の指導の元ガイドラインに準ずる具体的な支援内容を設定しています。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	<input type="radio"/>			お子様の発達段階に応じた児童発達支援計画に沿った支援を行なっています。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	<input type="radio"/>			活動プログラムの立案・検討を行うために、定期的な研修やケース会議等をチームで行なっています。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	<input type="radio"/>			お子様の発達段階を心理アセスメントで把握し、状況に応じてプログラムの内容を工夫しています。また、同じ教材であっても、方法を変えることで固定化しないようにしています。
16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	<input type="radio"/>			お子様とご家族の状況に応じて活動計画や児童発達支援計画を作成しています。	

区分	チェック項目	はい	検討中	いいえ	改善目標、工夫している点など
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎朝のミーティングでは療育担当の確認、相談/心理検査等の有無を確認し、職員それぞれが自身の役割を適切に果たせるよう確認しています。
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			夕方のミーティングで療育の中での気付いた点やお子様の成長などを共有しています。
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			毎回の療育終了後、お子様の様子の振り返りを必ず行っています。どのようなことができたかや次回課題の設定などもしています。
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			定期的なモニタリングにてお子様の発達の状況を振り返り、児童発達支援計画を見直しています。
関係機関や保護者との連携	21 障害児相談支援事業のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参画しているか	○			サービス担当者会議にはできる限り担当者が参加するようにしています。どうしても参加ができない際には、心理検査、日々の療育記録等を担当者と児発管とで共有し、児発管サービス担当者会議にふさわしい状態で臨むようにしています。
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○			保健センター様・・・お子様と保護者様の困り感、必要な支援についての共有をしています。 子育て支援センター様・・・月に1度ずつ静岡中央/清水中央子育て支援センター様にて弊所代表が講座を担当させていただき、発達に関する情報提供やサポートの方法についてお知らせしています。また、服織/興津子育て支援センター様でも数回実施予定です。
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	■			医療的ケアを常に必要とするお子様の在籍がありません。
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	■			医療的ケアを常に必要とするお子様の在籍がありません。
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			現在、病院、保育園、こども園、幼稚園、児童発達支援施設、公立小学校等との情報交換/共有をしています。(述べ20以上の病院/園/事業所/施設/学校)
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			保護者様を通じて、心理検査や支援時の目標/様子についての情報提供を行っています。保護者様のご要望に応じて小学校へ訪問予定です。
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			複数ご利用のある児童発達支援施設様や相談支援事業所様と連携し、支援の方針やお子様の状況について共有し、助言等を頂いています。
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		園との交流は現在のところ実績がございませんが、弊所での交流会はこれまで数度実施しております。その際に様々な境遇のお子様の交流がありました。
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○			代表が子育て支援連絡会へ在籍し、子育て支援に関する情報の収集/ご家庭への情報提供を行えるようにしています。
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			同室での個別療育(もしくは様子をiPadで視聴できる環境)にすることで保護者様がお子様の状況把握をできる限りできるようにしています。課題については個別の支援計画のご相談や心理計画実施の都度お伝えするようにしています。
	31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○			保護者向け講座を数度企画/実施しています。また、保護者様のニーズに合わせた勉強会等を改めて企画しています。

区分	チェック項目	はい	検討中	いいえ	改善目標、工夫している点など
保護者への説明責任等	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			ご契約時に「重要事項説明」と「ご契約書」にて説明を行なっています。
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			児童発達支援計画を作成後、説明を行なっています。お子様のニーズを把握し、最適な支援計画を作成するためにお時間をいただいております。ケースもありますが改善に努めています。
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			日々ご利用いただく中でお悩みの共有や課題の解決、助言/支援等行えるようにしています。(例:閉所サポートに関する情報提供等、支援センターのご紹介、相談支援事業所のご紹介、他児童発達支援施設のご紹介)
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会などを開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			5月以降に定期的の実施予定です。
	36 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情受付の手順に従い迅速に対応させていただきます。
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○		利用者様向けのメールマガジンを配信しています。また、実施予定の活動/イベント内容については入り口付近に日付と共に掲示していきます。
	38 個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			個人情報のファイルは、鍵付きの棚に管理しています。また、OA機器の個人情報については職員に周知し、管理を徹底しています。
	39 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			療育やご相談の中で職員が保護者様やお子様の意思を最大限汲み取るようにしています。
非常時などの対応	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		今後の「開かれた事業運営」についてはお子様やご家族の安心・安全等を考慮し、検討していきます。
	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○			それぞれマニュアルを策定しています。11月に常勤職員全員での避難訓練を実施しています。また、近隣のこども園(避難場所)とも緊急時の対応を協議しています。
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			定期的に避難訓練を実施し、記録しています。
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○			ご契約時/初回面談時に病気等について確認し、記録の上で職員間で共有をしています。
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			おやつ等の食事は提供していませんが、心理検査(ADOS-2のみ)実施時にアレルギーについて伺い、適切な対応をしています。
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハットの共有を密にしていますが、事例集については作成中です。
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			研修や資料の共有を研修等で行い、虐待防止のための対応を行っています。
47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○			まだケースがありませんが、身体拘束が必要なお子様がいらっしゃる場合は状況等に応じて組織的に決定し、支援計画に記載いたします。	